

50年間ありがとう 中野サンプラザ

7月2日、50年の歴史に幕を閉じた中野サンプラザ。中野のシンボルとして、多くの方に愛され続けてきました。今号では、その歴史を写真とともに振り返ります。

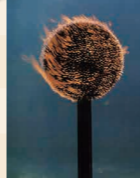
こんなこともあった!

50年の歴史からピックアップ

1973年 全国勤労青少年会館としてオープン



現在の時計台の場所にはファイアボールが



特設 ふるさと電話コーナー



開館当初から成人式はサンプラザで



ゆかりのある方に聞きました サンプラザの思い出・エピソード

約20年間心の込もった料理でおもてなし



中野サンプラザ 名誉総料理長 八重樫さん

顔なじみになったお客さんも多く、地域の応援をじかに感じていました。大切にしてきたことは、おもてなしの精神。夏の風物詩として毎年開催していたサマービアバイキングでは、趣向を凝らした料理を提供する他、マグロの解体ショーなども企画。お客さんにも喜んでいただき、とてもいい思い出です。



◀まちめぐり博覧会では、シェフ直伝の料理教室を開催。予約開始後、即満員になる人気イベントでした



東日本大震災の時は被災地へ炊き出しに▶

2004年 民営化 新生サンプラザ開館

こんな施設もありました



8階には 天空のテニスコートが



世代問わず人気の ボウリング場も

35年前にサンプラザの神殿で結婚式

白無垢・角隠しを着たいという妻の思いから、神殿で式を挙げました。当日は、入院中だった父も一時退院し参列。料理の変更や車いすの手配など、式場からの心遣いもあって、無事晴れ姿を見せられたのはうれしかったですね。他にも、節目の祝いはサンプラザで。もう利用できないと思うと、正直寂しいです。



▲披露宴会場には約100人のゲストが(塩浦さん提供)



中野生まれ 中野育ちの 塩浦さん

サンプラザの外観が印刷された結婚式のアルバム▶



サンプラザの歩み

1973年、雇用促進事業団(当時の労働省外郭団体)により「全国勤労青少年会館(愛称・中野サンプラザ)」として開館。

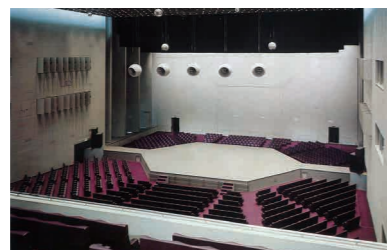
当時は、ホールやホテルの他、働く若者の福祉施設として、就職相談室、図書室、結婚相談所などが入っていました。

ホールでは、開館当初からさまざまなジャンルのアーティストがコンサートを開催。2000年には「音響家が選ぶ優良ホール100選」に選定されるなど、音楽の聖地としても愛されてきました。

その後、2004年に中野区と民間企業グループが共同出資した(株)まちめぐり中野21がサンプラザを取得(現在は区のみが出資)。その子会社の(株)中野サンプラザが閉館まで運営していました。



建設前のサンプラザ周辺。当時、高い建物はほとんどありませんでした



開館当初のホール。360度客席に囲まれたアリーナ仕様にもできました

サンプラザの名前の由来

愛称は一般募集し、若さ満ちあふれるエネルギーの象徴「太陽=SUN」と、人々が集う場所「広場=PLAZA」が結び付き「SUNPLAZA」に決定。民営化後は、愛称だった「中野サンプラザ」が正式名称となりました。

まちなみなさんに聞きました

サンプラザへのメッセージ

七五三から成人式まで、子どもの祝い事は全てサンプラザでした。子どもの成長を一緒に見守ってくれてありがとうと伝えたいです

ライブで何度も利用しました。楽しい思い出がたくさん

飛行機に乗っていた時、上空から見たサンプラザ。何だか感動しました

クリスマスの装飾を見るのが毎年楽しみでした。見られなくなるのは寂しい



2028年度 サンプラザのDNAを引継ぎ 新しい象徴が誕生

(仮称)NAKANO ホール等を整備して

サンプラザシティとして、最大7,000人を収容していきます。



▲詳しくは 区へ



他にも

サンプラザへのあふれる思いを動画で紹介しています



◀ホールでライブをしたアーティストなどが思いを語ります



▲区からアクセス